

久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略（暫定版）に対する  
パブリック・コメントでの意見について

参考資料⑤

※ 年6月10日（水）～7月9日（木）の間、意見を募集。

1 位置づけ

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
1	市内 団体	P1	産官学金労等に「言」を挿入して産官学金労言等に修正する。 【理由】 内閣府地方創生推進室版「地方版総合戦略策定のための手引き」を見ると「言」が入っており、この戦略が多様な意見を反映することを明言していることから、市民との情報共有の手段としてもメディアの参画は不可欠と考える。

4 基本目標

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
2	市内 団体	P2	「若い世代の結婚・妊娠…」に「雇用」を加えて「若い世代の雇用・結婚・妊娠…」と修正する。（関連箇所同様） 【理由】2015年版少子化社会対策白書でも20～30歳代の未婚・既婚の男女全体の63.9%が経済的にやっていけるか不安をあげている。安定した雇用こそが結婚を考えられるかどうかの大きな要因だと考える。
3	市内 団体	P2	「安心な暮らしを…」に「安全・」を加えて「安全・安心な暮らしを…」に修正する。（関連箇所同様） 【理由】セーフ・コミュニティの国際認証を受け、取組の充実を市民との協働で進めている中で、その概念を広く浸透させていくためにも安全を加えるべきである。

5 施策の基本的方向と主な事業、客観的な指標

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
4	市内 団体	P3	すべてのKPIにおける人数は性別に集計し表記する。 【理由】男女共同参画社会づくりのベースとして、男女別の数を把握し分析することが、効果的な施策に繋がっていくと考える。

(1) 安定した雇用を創出する

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
5	市内 個人 40代 女性	○久留米市の強みを活かした産業の集積と新産業の創出 P3	工業団地に大企業を誘致することもよいが、一つの業種や産業に依存すると、その企業の撤退や産業の衰退により、街は存続の危機を迎える。そのため、大企業の誘致よりも、地元の中 <small>小企業が久留米に根を広げ、発展できる仕組みを創る必要があり、久留米の地場産業を活発にして、中小企業が永続的に続く産業の仕組みづくりや職場の確保を考えて頂きたい。</small>
6	市内 個人 60代 男性	○職業として選択できる魅力ある農業の実現 P5	B級グルメにも質が求められており、くろめブランドの質の高い豚肉、鶏肉や小麦を生産し、食材に使用することで、久留米の食の代名詞であるとんこつラーメンや焼鳥を美味しくして欲しい。 うなぎも、これから手にはいづらくなってくると思うので、代用に、どじょうを生産して、店に出すようにしたら良いのではないかと。
7	市内 団体	○地場企業の振興と人材の確保 P7	⑧地元就職推進事業 「KPI:5年間の九州インターンシップ協議会登録企業数」を「5年間の地元就職した若年求職者数」に変更する。 【理由】5年間で具体的な就職という成果を示すことの方が意味があると思う。
8	市内 団体	○地場企業の振興と人材の確保 P7	⑨高齢者の現役活躍支援事業 「KPI:5年間のセミナー受講者数」を「KPI:5年間の高齢者の就職者数」に変更する。 【理由】現在のKPIはこの事業の前段階で取り組む内容であり、さまざまな機関と連携し就職支援した結果としての就職者数を挙げるべきである。

(2) 久留米市への新しいひとの流れをつくる

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
9	市内個人 60代 男性	○久留米とんこつ戦略の推進 P9	筑後川の活用として、たとえば、 <u>原鶴温泉までのお客さんをJR久留米駅から梅林寺まで歩いてもらい、川から舟で、温泉まで行ってもらう。</u> まずは、土、日、休日だけで良いから、全国の駅マルスで予約をしてもらって、当日の川の状態でJR久留米駅のみどりの窓口で乗舟券を発券してもらうのが良いと思う。片道は舟で、もう片道は、バスか鉄道を利用すると良いかと思う。もちろん、帰りの温泉街から久留米までの舟も有りだと思ふ。
10	市内個人 60代 男性	○久留米とんこつ戦略の推進 P9	久留米は自転車のまちなので、 <u>サイクリングコースを作る。</u> コースは、JR久留米駅から筑後川の土手か川原のコースで、大川にある旧国鉄佐賀駅の鉄橋まで行って橋を渡って、反対の土手に行って久留米まで帰ってもらうコース。途中、土手の近く <u>のうなぎ屋や、酒造会社で、ひと休みするのも有りかと思う。</u> 出来れば、JR久留米駅に、レンタルサイクルを置いて、帰って来てから汗を流せるシャワー設置が在れば良いと思う。
11	市内個人 40代 女性	○市民が主役の楽しい文化芸術都市 P10	①久留米シティプラザ文化にぎわい創造事業の推進 KPI：平成31年度の久留米シティプラザ来館者数、で測るとあるが、具体的に来館者とは、どのような人のことを指し示し、その人々をどのような方法でカウントするのか。 <u>久留米シティプラザでは、開館当初からこの来館者をカウントすると思うが、方法を明確にしたい。</u> また、このような事業の推進の評価方法が「来館者数」だけで測れるものなのか、ある程度複数の視点での評価が必要ではないか。 今回の評価方法の提示は非常に安直であり、久留米市は久留米シティプラザへの投資に対する対価をそれだけでしか判断しないという風にとらえてしまう。いわゆる数だけの評価になることに疑問を感じる。 <u>久留米シティプラザで新しい文化を創る、というのなら、その評価方法も従来の方法にとられないことなく、新しいあり方（評価）を示してほしい。</u>
12	市内個人 60代 男性	-	久留米との関わりをなくした人に、久留米の名産の品を送る。 道の駅等の品を中心に、その月に一番良い品、なつかしい味を送ったら良いと思う。始めから、この品物を送るのではなく、一番良く出来た品物を送る。その品が良かったら、全部その品で、2ヶ月続けても良いと思います。何か送られて来るのが解らないけれども、親が忘れていたり、久留米と関わりをなくした人には、ありがたいサービスになると思う。

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
13	市内団体	P12	6行目「…また、男女が共に仕事と家庭、…」を「…また、長時間労働の実態を見直し、女性の労働による社会参画を支援し、男女が共に仕事と家庭、…」とする。 【理由】日本では週50時間を超えて働く労働者は28%と主要先進国では飛びぬけて多い。日本でワーク・ライフ・バランスが実現しない大きな理由は、労基法無視の長時間労働が横行しているからである。久留米市では20代から30代の就労人口の流出が大きな課題となっている。原因を究明し、とくに女性の働きたいという意欲に応える施策を打ち出し、さらに、ワーク・ライフ・バランスの実現に繋げることが求められていると考える。
14	市内団体	P12	12行目「…支援する環境づくりを進めます。…」の後に「とくに、生きにくさを抱えているシングルマザーや多様な家族形態を生きる人に対する支援を行います。」を追加する。 【理由】現在、結婚や子育てに関する価値観が変化し、生き方も多様化している。性的マイノリティ、シングルマザー、多様な家族形態で暮らす市民の実態や生きにくさをリサーチし、市民の声に応える施策が求められている。また、一人で子育てをしている女性や事実婚や同性婚などの生き方を選択する市民への配慮や支援を先駆的に行うことによって久留米市での子育てのしやすさを促進していくことができると考える。

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
15	市内 団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	③女性の就労環境整備事業 「…連携を深め、仕事と…」の深めの後に「女性の就労拡大と…」を追加する。 【理由】就労後の環境整備のみ記載されているが、女性は就労そのものが大変遅れている現状を考えると、就労の段階を盛り込むべきである。
16	市内 団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	③女性の就労環境整備事業 「…、仕事と子育ての両立や…」の仕事の前に「…、男女がともに」を追加する。 【理由】女性の就労環境整備事業の中に「仕事と子育ての両立」があると女性への支援と考えられがちである。しかし、「仕事と子育ての両立」が阻まれる大きな要因は男性の長時間労働である。ゆえに男女がともにを強調してワーク・ライフ・バランスの実現を図ることが肝用である。
17	市内 団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	③女性の就労環境整備事業 「周知・啓発等に取り組みます。」の後に、「また、当面非正規雇用でキャリアアップをめざす女性への支援を強めます。」を追加する。 【理由】平成26年度久留米市男女共同参画白書によると久留米市の女性の労働力率は、M字のくぼみが年々解消する傾向にある。しかし、就労希望があっても実現していないことや非正規の状態で働く人が多いことが課題として指摘されている。このことから、就労支援プログラムに非正規で働く女性へのサポートを具体的に進める必要があると考える。
18	市内 団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	「・女性の就業率の拡大と非正規という働き方の見直し」を追加する。 【理由】2012年、国際通貨基金は雇用と経済成長について報告書を公表し、日本経済が高齢化に対応するには女性の就業拡大が不可欠と提言している。しかし、現在働く女性の55%が非正規雇用である。非正規の働き方の問題点を解決し、女性が経済的に自立できる施策を立てることが少子化対策及び持続可能な社会発展には必要である。
19	市内 団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	「・セミナー受講者に対する就労相談などの出口づくり」を追加する。 【理由】企業訪問体制を活かし、ハローワークなどの就労支援関係とも連携した出口づくりを強める必要があると考える。受講したことが就労に結びつくという安心感があり、就労にためらいを感じている女性に対しては、出口づくりは再就職率の向上に資すると考える。
20	市内 団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P13	②若年者雇用安定促進事業 KPI:5年間の企業訪問件数に若者の就職者数を追加する。 【理由】企業訪問も大事だが、その成果が指標に置かれるべきと考える。
21	市内 団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P13	③子ども総合相談事業 「…などを行う、…」の後に「ソーシャルワークができる人材を含めた…」を追加する。 【理由】子育て支援は、生活に不安を抱える人々や社会的に疎外されている人に対する援助が必要である。
22	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	こどもの発達支援事業で、相談の窓口が数箇所あるが、どこも待ち状態になったり、回されたりする現状があるので、一貫した支援を行う子ども発達支援センターの整備について、早期実現をお願いしたい。
23	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	久留米市の幼児研究所の機能は、療育・医療・教育と結びつき、素晴らしいと思っているが、機能が学齢期で分断されているので、学齢期の相談とつないで欲しい。そして、青年期まで相談できるようになることを願っている。 また、親の会などとも連携し、相談ネットワークも機能に入れると、広がり深まると思う。専門性ととも、 <u>びあカウンセリングともつながるといい。</u>

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
24	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	若い保護者が、安心して子育てが出来るよう、早急に『 <u>発達支援センター機能</u> 』の具体的な取り組みをして頂きたい。
25	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	<u>子どもセンターの早期実現</u> をお願いしたい。
26	市内 個人 30代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実	<u>子どもセンターの早期実現</u> をお願いしたい。
27	市内 個人	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	<u>幼児教育研究所の対象者を就学前より学童・青年・成人まで拡大</u> して欲しい。
28	市内 個人 40代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	久留米市内で、 <u>発達障害をもつ人(成人を含む)や不登校で悩む人、また、その保護者が、相談や療育、就職まで視野に入れた支援を受けられる、公の支援センター・施設の設立</u> を心から願う。 ハンディを持った子どもたちが将来自立を目指せるための公の施設を作り、そこから世間一般への理解を求め、情報発信を行うことや、悩む子どもや保護者へ安心した対応ができるサポーターや相談者や理解者を育成することが必要である。
29	市内 個人 40代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	久留米市における死因第一位が「自殺」であることから、 <u>コミュニティスクールを推進し「人とひと」の絆づくりを重点課題とする必要がある。</u> また、「ワンストップ相談窓口」と「 <u>困難を有する子どもや若者の支援の地域ネットワーク</u> 」の構築が必要と考える。 関与継続型のアウトリーチノウハウを活用した「伴走型」のコーディネートを実施し、自立支援の効果を上げている支援団体を参考にして頂きたい。
30	市内 個人 40代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	若者が進学や仕事を求めて市外に転居する割合が多いことを考えると、 <u>小学校から久留米独自のキャリア教育を進め、久留米の産業や文化・歴史を教え、「久留米が好き」「久留米で働きたい」「久留米のことを多くの人に知ってもらいたい」と考え行動できる教育体制を創る必要がある。</u> 久留米の独自の教育プランを展開することで、進学のために市外に転出したとしても経験を積んで久留米に戻るケースが増えるのではないかと考える。
31	市内 個人 40代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	<u>義務教育の充実と相談・支援体制の一本化（ワンストップ相談窓口）</u> が必要である。 義務教育においては、①少人数クラスが副担任を配置し、集団生活に慣れていない児童生徒の教育体制を整える。②知識を詰め込む教育からキャリア教育をベースにした知識を活用できる教育体制への変換を図る。③地域住民や地域産業を巻込んだ教育課程を作成する。④学校に、教師や親以外の大人を増やし、多様な考えや生き方・人生観があることを学ばせる。 以上により、人を意識した行動や立ち振る舞いを自然と修得することが出来、その結果、柔軟性や臨機応変な行動を育み、実務的・文化的・人間形成的教育が出来ると考える。非行や引きこもり・不登校を防止する策ともなる。
32	市内 個人 40代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	思春期の子を持つ親対象の講座が少ない現状がある。親自身が親として成長していないと、子どもも思春期（反抗期）を上手に乗り切れないので、 <u>親育ての一環として、学校の中でPTA向けに親育ての講座やサークをつくり人との絆づくりをする必要性を感じる。</u> 親が地域と繋がっていないので、子どものことで（いじめ・非行・不登校・引きこもりなど）困ったことが起きると問題が深刻化しやすいと言える。

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
33	市内個人 40代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	スクールカウンセラーを利用しており、親としては大変有り難いが、カウンセラーの先生が学校に来られる回数に限られていて、時間も短く、たまに会って話すだけとなり、十分に機能しているのか疑問に感じる。 常勤までとはしなくても良いが、もう少し頻回にカウンセリングが受けれる方が、利用者も増えて良いかと思う。特に子ども達は、悩みがあって、予約しても一カ月後にしか受けれないのであれば、なかなか利用する気持ちにならないのではないかな。
34	市内団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	⑧くるめ学力アップ推進事業 「…取り組みを進めます。」の後に、「また、特に貧困な状況にある子どもの学力の充実に取り組みます。」を追加する。 【理由】平成27年1月29日の久留米市教育委員会定例会会議録において、「くるめこ塾」は子どもの貧困対策に関する法律に準じた施策と位置づけられており、単に全国平均以上の正答率の早期達成を目指すだけではなく、より困難な状況にある子どもの対応にも十分に取り組むべきであると考え。
35	市内団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	⑩不登校対策総合推進事業 「…支援や…」の後に「…その子の希望に沿って…」を追加する。 【理由】教室復帰だけが不登校児童生徒への対策ではない。その子の生きる力を伸ばす取り組みが必要だと考える。

#### (4) 安心な暮らしを守る

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
36	市内個人 60代男性	○ネットワーク型のコンパクトな都市づくり P18	若い子からお年寄りまで、人が集まれる一番街にする。 ①屋台をアーケードの中に入れ、トイレ、水、電気等により、衛生的に行う。②昔の映画館を、若者達の演歌の練習場として利用させる。③市内の女子中高生に、レンタルで久留米緋の着物をかして、福岡等に遊びに行く時に、おしゃれに着て行ってもらう。出来れば修学旅行にも、レンタルで行ってもらう。④退職して集まった人の学びや教える場として、一番街の空きテナポに、お花、書道、ピアノ等の音楽、ヨガ、なんでも有りの場を作る。
37	市内個人 60代男性	○ネットワーク型のコンパクトな都市づくり P18	JRと西鉄が離れていて、利便がよくなく、遠方からの人がバスを利用するには解りにくいので、久留米市を横断する鉄道があれば良いと思う。 コースは西鉄久留米から六つ門—三本松公園—市役所—JR久留米駅—BS—医大のコースが良いと思う。もちろん全ての駅は、バリアフリーのホームドアで運行してもらいたい。鉄道は、懸垂式のモノレールが安く作りやすいと思う。
38	市内個人 60代男性	○健康で安心して暮らせるまちづくり P20	久留米市には、医科大学が2つあるので、高齢医療の充実した福祉の街をコンセプトにしたまちづくりを行なう。 中古のマンションをバリアフリーにして、各マンションに医療関係者の学生に、割引きして住んでもらうようにして、住民への注意を払ってもらう。 たとえば、サガン鳥栖に入団する時に、手に職をつけるために、医大のリハ科に通学させて、選手として大成しなくても、スポーツのリハビリや地域の福祉に作業理学療法士としてこれからの人生のひと役をかってもらう。

#### (5) 広域拠点の役割を果たす

No.	意見者	主な対象項目	意見の概要
39	市内団体	○久留米広域連携 中枢都市圏の形成 P24	③圏域全体の生活関連機能のサービスの向上 「・生活機能の強化充実（子育て支援の充実など）」の子育て支援の後に高齢者生活支援を追加して、（子育て支援、高齢者生活支援の充実など）とする。 【理由】「子育て世代や高齢者が安心して…」と書かれており、この事業にも明示していただきたい。